

疑義照会に関するヒヤリ・ハット事例 ～疑義照会はしていないが処方内容を確認した事例～

ヒヤリ・ハット事例のうち、疑義照会はしていないが処方内容を確認した事例が93件報告されています。(集計期間：2011年1月1日～2011年12月31日)

それらの事例について、実施の有無（医薬品の交付の有無）の状況は下表の通りです。なお、割合が多かった「実施あり」（医薬品を交付した）については、赤色で示しています。

上段：事例数(件)／下段：割合(%)

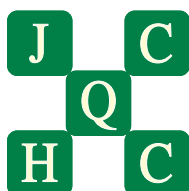
	実施の有無（医薬品交付の有無）		合計
	実施あり (医薬品の交付あり)	実施なし (医薬品の交付なし)	
疑義照会はしていないが 処方内容を確認した事例	80	13	93
	86.0	14.0	100.0

疑義照会をせずに医薬品を交付したため、患者に軽微な治療を要した主なヒヤリ・ハット事例を以下に示します。

事 例

アナフィラキシーショックの原因となるアセトアミノフェンが処方されていたが、気付かずに投薬した。患者が帰宅後に服用したところショックを起こし、救急車で近隣の病院へ搬送、治療を受けた。血圧が低下し、呼吸も一時停止したが、蘇生した。一晩入院し、次の日の昼に退院して、自宅療養に切り替わった。約10日で浮腫はほぼ治まった。約20日経過した時点で、だるさは多少残っているが、食欲もほぼ戻り、自転車で近所に出掛けられるまでに回復した。

※薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業「平成23年年報」P195図表4-2-1、P203を改変



公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東洋ビル

電話：03-5217-0281(直通) F A X：03-5217-0253(直通)

<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>